

アカデミック英語 No.2

英語記述・要約を"パラグラフ構造"で書く ―― 論点を一段上の位置で整理する

導入文

英語の記述・要約問題で減点される答案の多くは、「書いてある内容を拾う」だけで終わり、段落の役割・論旨の構造を把握できていない。本講座では、英語記述をパラグラフ構造から組み立てる技術を、大学レベルのライティング論から逆算して習得する。

講義概要

英語記述を「情報を日本語で理解して英語に直す」作業から、「論点をトピック文・支持文・結論文で構造化する」プロセスへ転換する。大学アカデミックライティングのパラグラフ論を高校生向けに還元し、要約・意見論述の両方に使える骨格を作る。

授業目標：英語記述をパラフレーズの羅列から、パラグラフ構造の論述へ引き上げる。

対象者：高2（英語得意層）～高3・浪人生。英語記述・要約問題のある難関国公立・医学部受験生で、答案の構造と論理性を高めたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：トピック文を一文で書ける／支持文と結論文を区別できる／要約問題でも論旨を先に取れる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：減点される記述と評価される記述の違いを比較 2 概念導入：パラグラフのトピック文・支持文・結論文 3 接続：日本語要旨取り→英語構造化の流れを整理 4 演習：英語要約を骨格から組み立てる 5 応用：意見論述（agree/disagree型）に構造を適用 6 まとめ：「書く前に構造を決める」習慣を固定

追加30分：要約と意見論述それぞれの骨格作成演習を行い、トピック文の弱い箇所について個別フィードバックと質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：パラグラフの3要素／減点される記述の特徴／骨格作成の手順／要約と論述への適用

課題：英語長文1本の要約（150字程度）について、骨格（トピック文・支持文・結論文）を先に日本語で書いてから英語記述する。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。